

最優秀作品賞



1997年 NHK番組コンクール受賞「南米ふれあいの旅」最優秀作品

「こちらはアンデスの声です」南米エクアドルの峰を越えて日本語番組が地球を駆けめぐったのは東京オリンピックの年1964年5月でした。南米大陸で日夜労苦している移住家族向けに日本語で慰めと励ましをと夕食の時間をねらって放送開始。マイクの前で久子とふたりで毎日30分。開始の挨拶の後、まずはニュース。手持ちの短波受信機で朝にキャッチしたものを書き取って紹介。NHK提供の海外向け番組も使わせてもらいました。リスナーが誕生日の時には日本の曲をプレゼントしたいのに手元にないので、日本から最初に受信報告を下された山田耕嗣さんが実情をきいて勤めておられた某レコード会社のレコードや由紀さおり姉妹さんからも童謡全集のアルバムを提供していただきました。山田さんは日本で若者たちの間に『BCL ブーム』を巻き起こしてリスナーを盛り立ててくださいました。私たちが日本に一時帰国した時には日本全国の主要都市を巡回して百貨店やラジオ店などが「リスナーの集い」を開いて私たちはゲストとして招かれましたが、どこもヤングたちがサインを求めて大入り満員。店によっては「クイズ大会」を開いて新製品のラジオが賞品としてもらえるのであって大賑わいでした。駅のプラットホームや車内でもリスナーに見つかってサインを求められることがよくありました。山田さんにも「尾崎さんの計画スケジュールは新幹線なみだね」と言われながらいっしょに全国を巡回させていただきました。

南米向けの日本語放送開始が1964年5月1日と決まり、まずは番組のテーマ音楽をどうするかを考えたのですが、当時のNHKの海外向け放送は「数え唄」であることは知っていたので、他に何かないかなと頭をめぐらしていました。日本を象徴するものでほかに日本の国を代表する曲はないかなと思いついたところ・・・桜だ！桜、桜、野山も里も、見渡すかぎり・・・世界中どこに住んでいても「日本」と言えば咲いてよし、見てよし、里山の桜を頭に浮かべるに違いない。数日後、エクアドルの日本大使館に手続きと大使への挨拶のために出かけた時のことです。予定の時間まで待合室の長椅子にすわっていると、横にレコード・プレイヤーがあり、そばの陳列棚にレコードが備わっていたので立ち上がって目をおしているうちその一枚が目にとまりました。＜日本の唄＞の特集なので針をおとして聞いてみることにしました。静かに流れる懐かしい日本を代表するメロディ「さくらさくら」静かに流れる調べに乗せて目の前に広がる故郷の山や川・・・遠く離れた地球の反対側にいながら臉に浮かんで消え、消えては浮かびあがる懐かしい風景・・・思わず涙してしまいました。『これだ！』日本人なら世界中どこにいてもこの曲にふれば故郷日本を身体全体で感じるに違いない。

HCJB 日本語放送『アンデスの声』が山を越え、海を越え、世界を飛び回って半世紀。今も心の糧と慰めを待ち侘びる人々のもとに番組が届けられ続けています。「地球ぐるり」短波愛好家の人たちに「アンデスの声」は今も熱心に支えられ、新しいリスナーも加わっています。半世紀のご愛顧を心から感謝してさらに前進できるようにお祈りしています。



サタデー・トーク

バイブル・トーク

きき手 尾崎一夫 毎週土曜日放送		淀橋教会 峯野龍弘主管牧師 毎週日曜日放送	
5月 3日	NHK 受賞作品 弓場農場訪問 (南米)	5月 4日	創世記 (エデンの園)
5月10日	クリスチーンのアメリカ新発見の旅	5月11日	創世記 (エデンの園)
5月17日	エク！宇宙へ二度目の挑戦	5月18日	創世記 (エデンの園)
5月24日	天野博物館をたずねて (1)	5月25日	お便り交換の時間
5月31日	天野博物館をたずねて (2)	6月 1日	創世記 (エデンの園)

放送後の番組は、ホームページ(<http://reachbeyondchowder.jp>)のトップページ左側メニューにある『インターネット放送』のリンクページからお聴きいただけます。(mp3形式)

放送時間：日本時間 午前7時半~8時 17.650kHz (再放送) 午後8時~8時30分 15.460kHz
(米国アリゾナ州制作/オーストラリア送信)